INAX

システムキッチン

ユトリエ

施工説明書

このたびは当社商品をご採用いただき
誠にありがとうございました。
施工前にこの説明書をよくお読みのうえ
正しく施工してください。
この説明書は、同梱の「取扱説明書」とともに施工完了後、お客さまにお渡しください。

この説明書に書かれている注意事項は、必ず守ってください。
不適切な施工により事故が生じた場合、
当社は責任を負いかねますので、あらかじめご了承ください。

もくじ

安全上のご注意 …… 2
取付前の確認事項と準備 …… 6
取付手順 …… 8
調節および養生……26

工事店様用

安全上のご注意〈必ずお守りください〉

■ここでは、施工作業者の方が、安全にシステムキッチンの取付作業を行っていただけるように、取付作業中の事故を回避するための注意事項と、取付後ご使用になる方が、システムキッチンを安全にご使用いただけるように、使用中の事故を回避するための施工上の注意事項をあげています。
この安全上の注意事項をよくお読みの上、正しく施工を行ってください。

●施工完了後、施工後の確認事項にしたがって各部の点検を行い、異常の無いことを確かめてください。
●本体に同梱されている取扱説明書は、お客様にお渡しする大切な書類です。紛失や汚れが生じないように大切に保管し、施工完了後、お引き渡し時にお客様にお渡しください。

■警告表示の見方

●表示内容を無視して誤った施工をした時生じる危害や損害の程度を、次の表示で区分し、説明しています。

⚠ 警 告	この表示の欄は「使用者または施工者が死亡または重傷などを負う可能性が想定される」内容です。
⚠ 注 意	この表示の欄は「使用者または施工者が傷害を負う可能性または物的損害のみが発生する可能性が想定される」内容です。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。
（下記は、絵表示の一例です。）

	この絵表示は、してはいけない「禁止」内容です。
	この絵表示は、必ず実行していただく「強制」内容です。

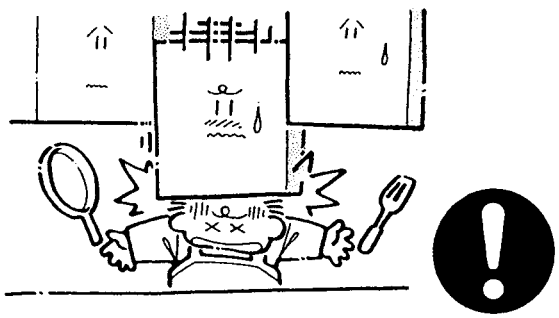
⚠ 警　告

電気配線の接続・電気コンセントの設置の必要な場合は、関連する法令・規定に従って必ず「有資格者」が行ってください。
※誤った方法で行うと施工中及び使用中の発煙・火災・感電の原因となります。

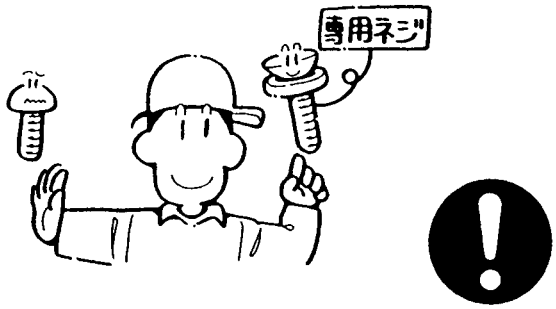
人造大理石カウンターの接続に使用する接着剤は、接着剤に付属の施工説明書（注意表示）に従って正しく使用し、後処理してください。
※誤った使い方・後処理をすると人体に影響が出たり、発火の原因になります。

⚠ 注　意

ウォールキャビネットを取り付ける取付用木が指定通りにできていることを確認してから取り付けてください。
※取付木に十分なねじ保持力がないと、使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



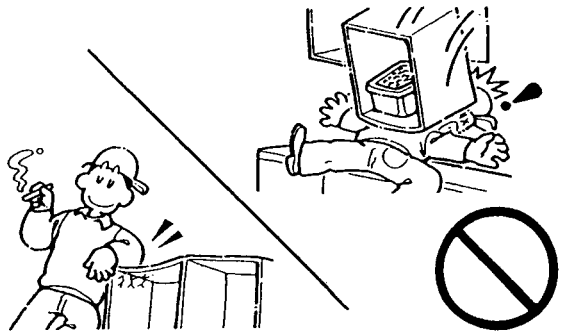
ウォールキャビネットは必ず商品に同梱している専用のねじで取り付けてください。
※適切なねじを使用せずに取り付けると、ねじの緩みが原因で使用中にウォールキャビネットが落下し、ケガをする恐れがあります。



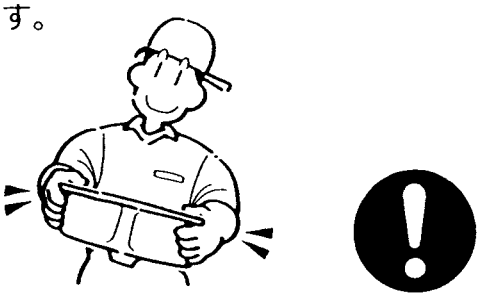
⚠ 注　意

キャビネットの運搬時には、キャビネットの背と底の部分に手を掛け運搬してください。
※キャビネットの桟木・幕板を持って運搬すると、破損してケガをする恐れがあります。

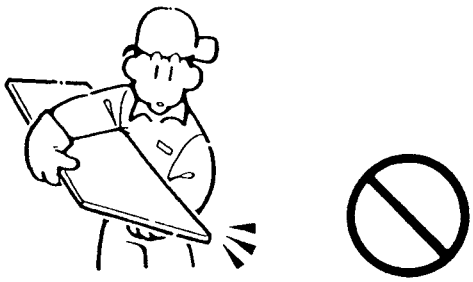
取付途中のキャビネットの上に乗ったり、もたれ掛かったり重量物を載せたりしないでください。
※キャビネットが破損または落下してケガをする恐れがあります。



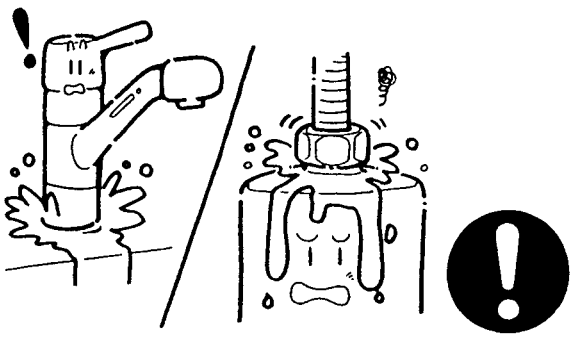
シンクを運搬・据え付けの際はシンク底部を持つか、手袋を着用して作業し、フランジ端部・排水口部に直接手を掛けないようにしてください。
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



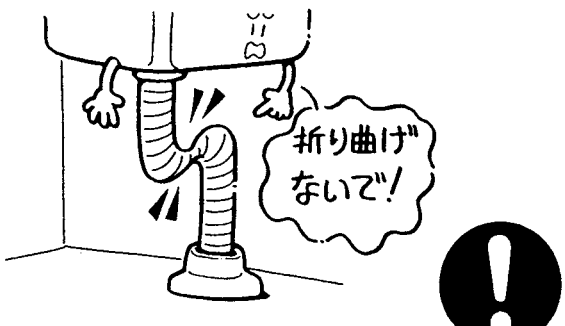
人造大理石カウンター・ステンレスカウンターのＬ形コーナー接続部の鋭角部分には直接手を触れないようにしてください。
※直接、力強く触れると手を切る恐れがあります。



水栓金具・排水部品（大形ごみ収納器・他）の取付部・接続部のナットは十分に締付けを行ってください。
※ナットの締付けが十分でないと使用中に取付部から漏水する恐れがあります。

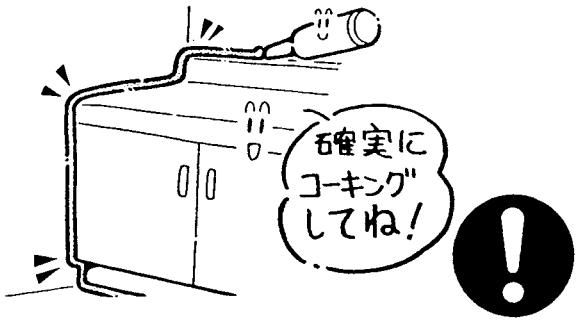


排水ホース・パイプはねじれ・折り曲げがないように建築側排水口との接続を確実に行ってください。
※使用中の漏水の原因となります。

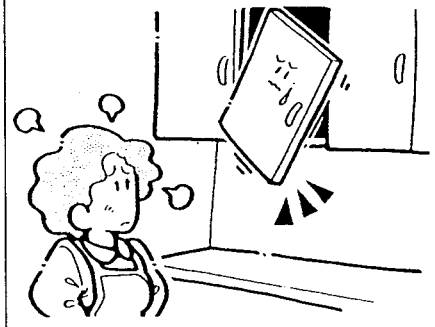


⚠ 注　意

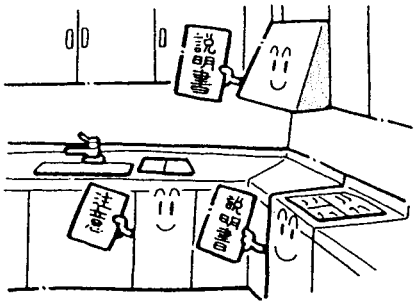
シリコンコーキングの指示箇所は、確実にコーキングを行ってください。
※コーキングされなかったり、コーキング不十分な場合水が侵入し、壁・床の腐食の原因となります。



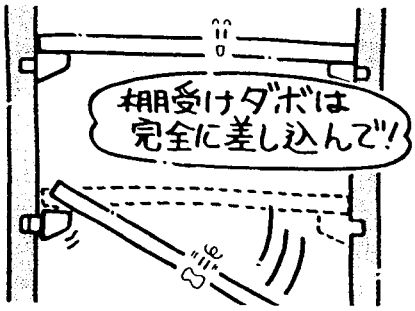
扉の調節後は全ての扉の指定のねじを固く締め付けてください。
※締付けがあまいと、蝶番が外れ、扉が落下する恐れがあります。



ビルトイン機器（換気用機器・加熱調理機・その他の機器）については、それぞれに付属の説明書・注意表示をご覧いただき、正しく施工を行ってください。
※誤った施工を行うと思わぬ事故や、故障の原因となる恐れがあります。



棚受けダボは側板に完全に差し込み、棚板をセットしてください。
※棚板が落下してケガをする恐れがあります。



1 員数チェック

受け取った商品について品番・数量をチェックしてください。システムキッチンは点数が多く間違いやすいので、入念に行なってください。

2 施工現場のチェック

施工図面どおり現場ができているか、以下の項目について確認してください。

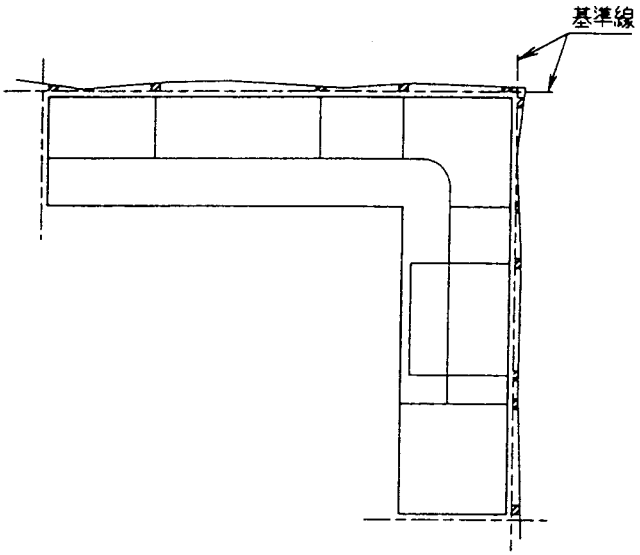
1．壁が垂直かどうか、フラットかどうか
2．壁間寸法、壁の直角度
3．床の水平
4．窓の位置、寸法
5．吊り戸棚用取付木位置
6．給排水管の位置
7．ガス管の位置
8．電源取出位置
9．排気口の位置及び寸法

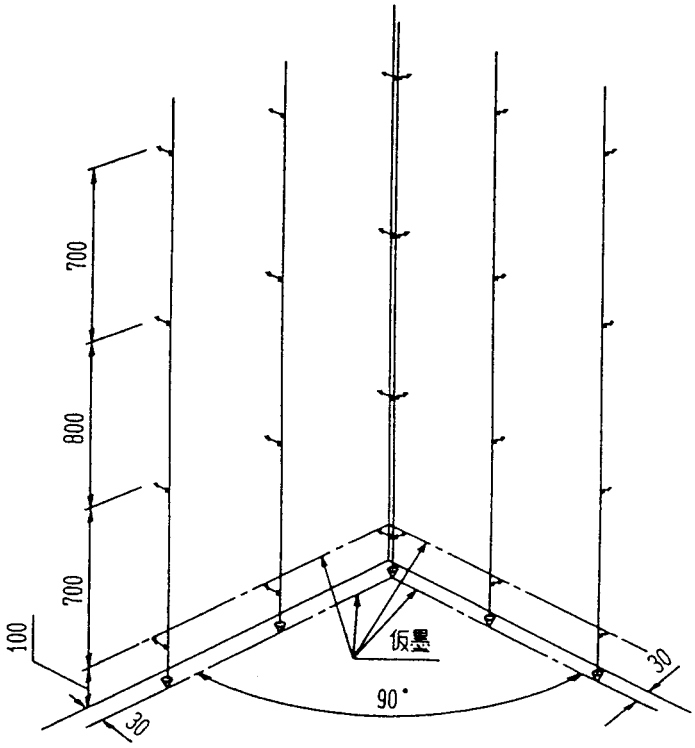
3 墨出し

(1)基準墨出し

①プラン上、長辺側の床に壁から30㎜の寸法で仮墨を打ちます。
②カネ尺及び３：４：５の直角三角形の原理を利用して、同様に短辺側の床に仮墨を打ちます。
③１m程度の間隔で下げ振りを下ろし、下図の左側に記入した高さの部分の←→寸法を測定し、最も突出した部分を探し出します。寸法は記入しておいたほうがよいでしょう。

※最も突出した点を含む垂直面、水平面がそれぞれ壁、床の基準面になります。





(2)取付用墨出し

①仕上がり床面を基準にして、ベースキャビネットの上端、ウォールキャビネットの下端（または上端）の位置に正確に墨出ししてください。

※床の仕上げはシステムキッチンを取り付ける前に完了していることが原則です。キッチン取付後床を仕上げる場合は、その厚みを逃がして取付位置を決めないと、ビルトイン機器のメンテナンスができなくなります。

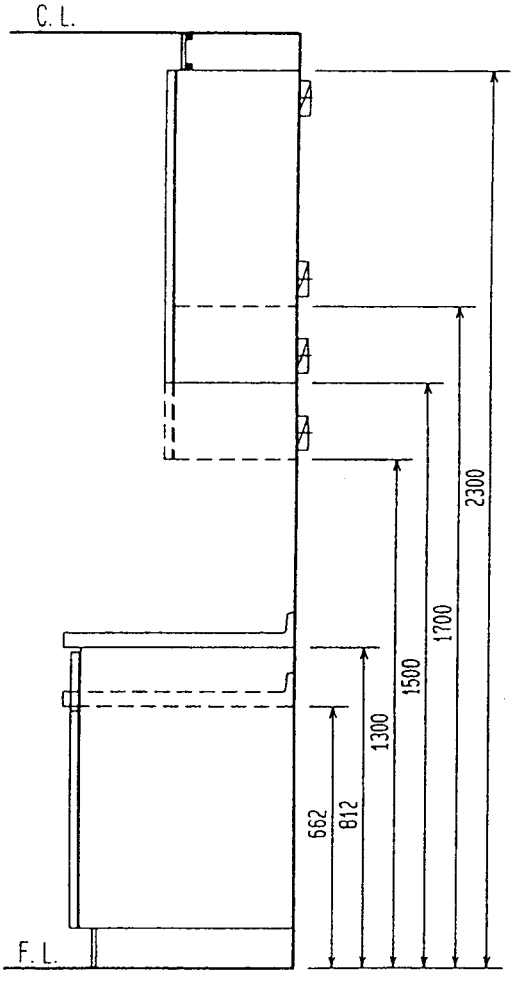
②墨出し終了後、排気口、窓枠など高い精度が要求される寸法を再度チェックしてください。

＊主要寸法

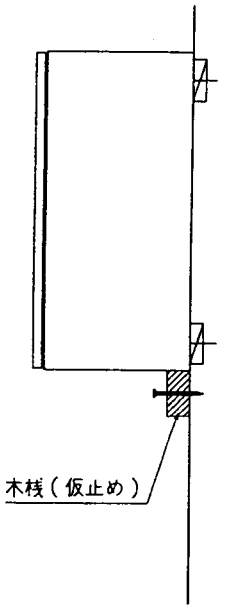
イ）標準取付高さ……2300mm
　　（ウォールキャビネット上端）

ロ）ウォールキャビネット下端高さ
　　600Hの場合……1700mm
　　800Hの場合……1500mm
　　1000Hの場合……1300mm

ハ）ベースキャビネット上端高さ
　　一般の場合…… 812mm
　　段落ちの場合… 662mm



※実際のウォールキャビネットの取り付けの際は、支えのため木桟を下図のように仮止めしておくと便利です。

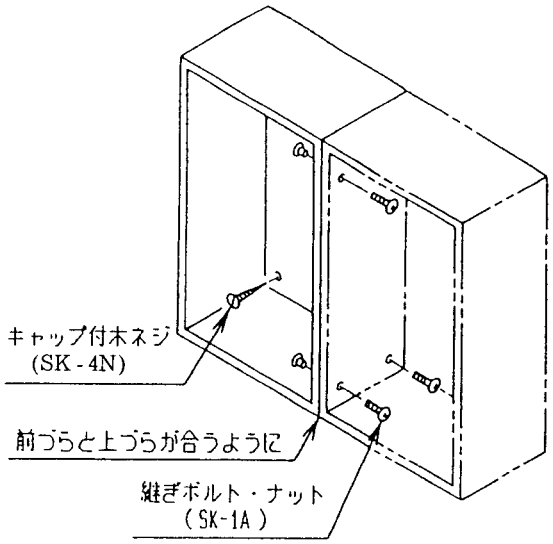


取付手順

1 ウォールキャビネットの取付け

①先に取り付けるべきウォールキャビネット（L型の場合は隅ウォールキャビネット）を墨と水準器を利用して、正確に取り付けてください。壁面への固定はキャップ付木ねじ（SK－4N）を使用してください。

②隣りに取り付けるべきウォールキャビネットを、先に取り付けたウォールキャビネットと本体前づら、下づらが合うように継ぎボルト・ナット（SK－1A）で4か所固定してください。



③レベル調整しながらウォールキャビネットをキャップ付木ねじで壁に1～2本固定してください。

④以下、②～③を繰り返して取り付けてください。

⑤壁とのすき間をくさび等で調節しながら、ウォールキャビネットの前面が一直線になるようキャップ付木ねじを締め付け直してください。

⑥残りの背板穴にもキャップ付木ねじを取り付けてください。

1-1 照明付ウォールキャビネットの取付方法

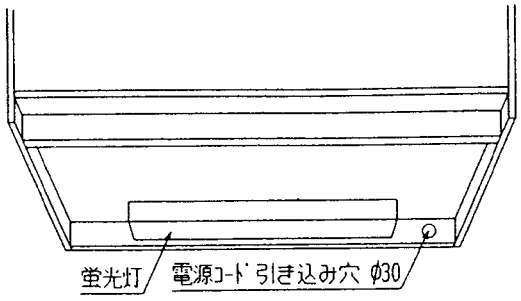
■KWE1060〔075、090〕DLDC他

①アクリルカバーを取り外します。

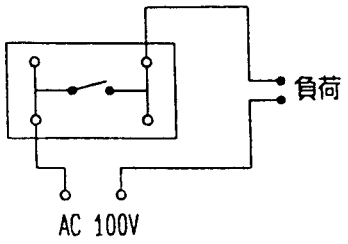
②背板のコード引込穴より、電源コードを通して、壁に取り付けてください。

③電源コードを接続してください。接続は、電気工事業者に依頼してください。

④レベル調整をしながら、ウォールキャビネットを壁面に固定します。



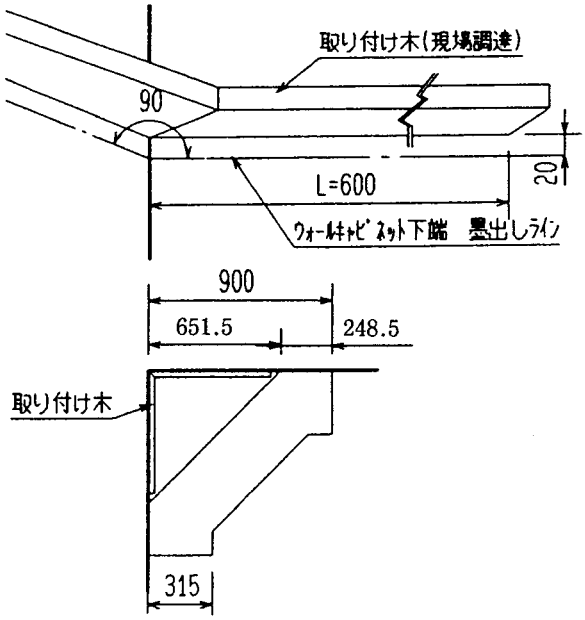
回路図



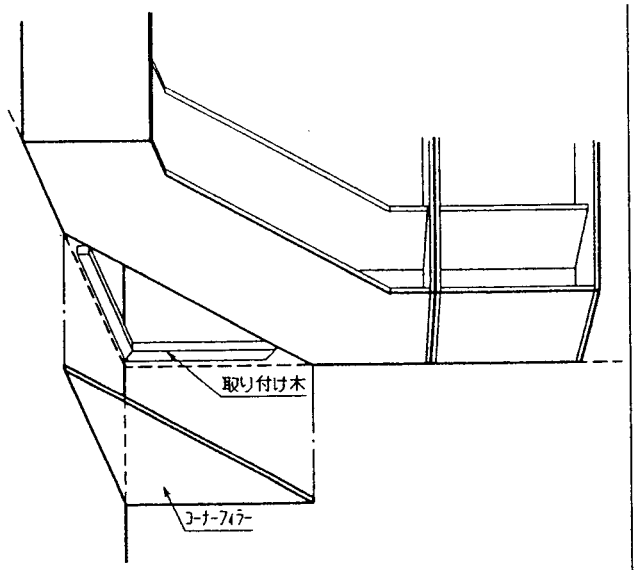
1-2 コーナー用ウォールキャビネットの取付方法

■KWFG〔FI、FL〕090DADC

①ウォールキャビネットの下端の墨だし位置を基準として、20㎜上の位置にコーナーフィラー取付木（ℓ＝600現場調達）を直角に取り付けます。



②他のウォールキャビネットと同じ要領でレベル調節しながら、ウォールキャビネットを継ぎボルト・ナット（SK－1A）で固定してください。



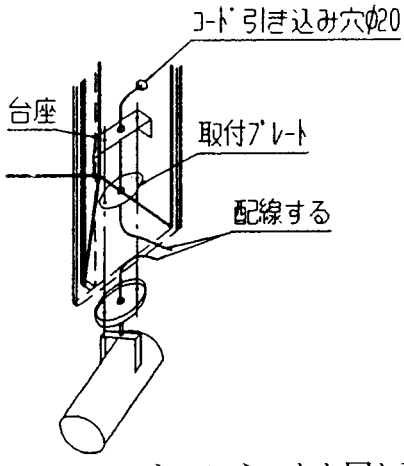
③同梱のフィラーをコーナーにはめ込み、下から６箇所ねじ止めしてください。

■KWFI〔FL〕090DMDC

※コーナーフィラーの取付方法は、上記と同じです。

①同梱の照明器具の取付プレートをキャビネット本体の台座に、六角ボルトで取り付けます。

②背板のコード引込穴より、電源コードを引き込みます。

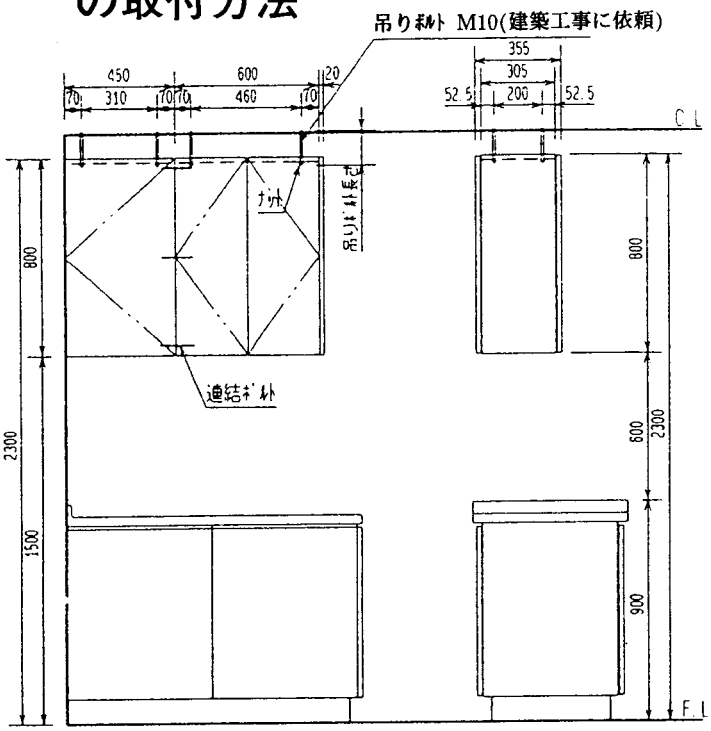


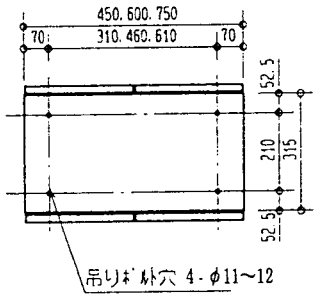
③他のウォールキャビネットと同じ要領でレベルを調節しながら、継ぎボルトナット（ＳＫ－１Ａ）で固定してください。

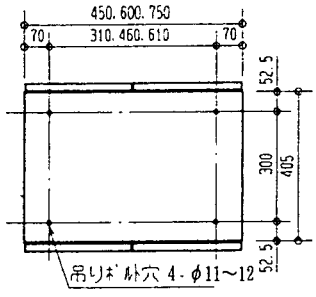
④台座と取付プレートの穴にコードを通し、照明器具本体の電源コードと接続します。（スイッチは壁面に取り付けます。）

⑤照明本体側のねじにてプレートを取り付けます。

1-3 両面ハッチ用吊り戸棚の取付方法







①野縁が吊りボルトの位置になるよう天井を組んでください。天井組みは、吊り戸棚の荷重に耐えられるようしっかりと行なってください。
(建築工事)

②ハッチ用吊り戸棚の天板部分にボルト穴をあけます。
(天板はベタ芯です。)

③吊り戸棚をレベル調節しながら吊りボルトで吊ってください。
各部ナットはしっかりと締め付けてください。

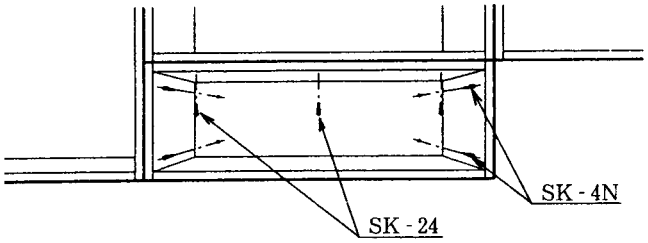
④隣接するウォールキャビネットを継ぎボルト・ナットで接続してください。

⑤天井を仕上げてください。
(建築工事)

⑥支輪を取り付けてください。
(建築工事)

1-4 オープン吊り戸棚(H：400)の取付方法

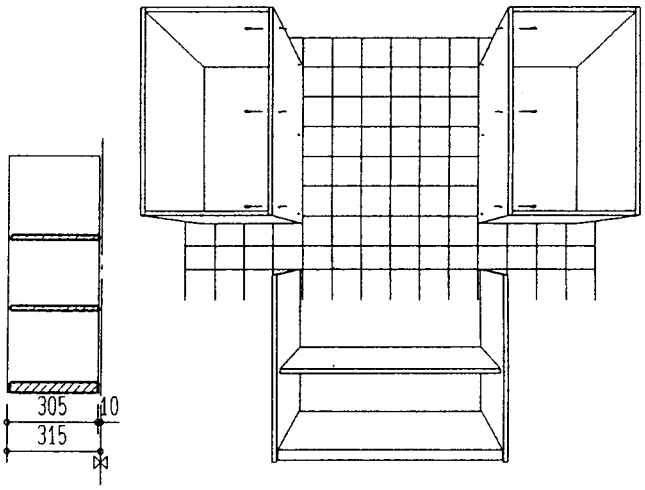
①キャップ付木ねじ（SK－4N）にて背板を壁面に固定します。
②上部のウォールキャビネットとのすき間ができないようキャップ付木ねじ(SK－24)で固定してください。



1-5 オープンシェルフの取付け

①オープンシェルフ取付スペースを残して他のウォールキャビネットを取り付けます。
②壁面にタイルを貼ります。
③オープンシェルフをセットします。両側のウォールキャビネットから継ぎボルトで接続してください。

※オープンシェルフの側板には鬼目ナットが埋め込んであります。
※オープンシェルフは必ずウォールキャビネットの間にレイアウトすることが必要です。



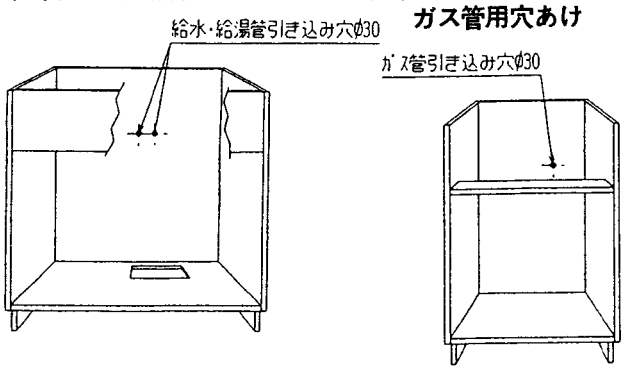
2 換気扇フード、レンジフードの取付け

※商品に付属の工事説明書に基づき取り付けてください。

3 ベースキャビネットの取付け

①図面に基づきベースキャビネットを所定の位置に仮設置してください。
②給水・給湯管、ガス管の穴あけをしてください。

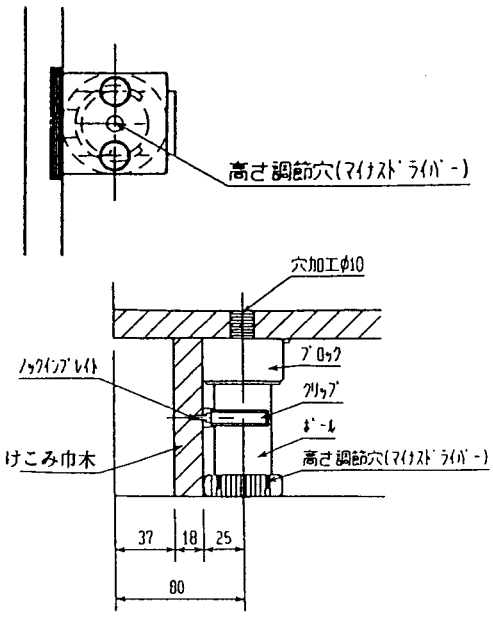
(イ)給水・給湯管の穴あけ　　**(ロ)ビルトインコンロのガス管用穴あけ**



③ベースキャビネット上端の墨(H：812)を基準に、水準器でレベルを確認しながらアジャスターを調節して高さを合わせてください。上下の調節は、キャビネット内部より高さ調節穴にドライバーを差し込んで行なってください。樹脂製アジャスターの場合は、マイナスドライバーを使って下端のリングを直接回しても調節できます。

※一部高さの違うキャビネットがあります。その場合は、キャビネットの下端で合わせてください。

アジャスター取付位置(ベースキャビネット)



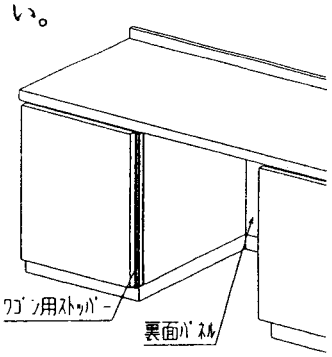
④調節が終わったら、全ての隣接するベースキャビネットを、継ぎボルト・ナットで接続してください。

※隅調理台用ベースキャビネット、隅食器戸棚用ベースキャビネットの側板には、鬼目ナットが埋め込んでありますのでナットは不要です。
※段落ちタイプのキャビネットどうしの接続は、継ぎボルト・ナットをご使用ください。一般のベースキャビネット（H：812）との接続の場合は、段落ちキャビネットの側から同梱のキャップ付木ねじ（SK−24）にて接続してください。

3-1 サービスワゴンの取付け

■KBEJ045WCDC

①同送の裏面パネル（W405×H712×18t）を設置スペースの背板部分に取り付けてください。
②設置スペース両側面にワゴン用ストッパー（W20×D20×H710）を取り付けてください。

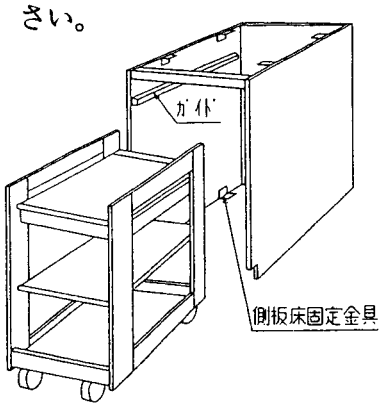


③けこみ巾木を取り付けてください。
④ワゴンを納めてください。

3-2 サービスワゴンの取付け

■KBEJ045WEDL（R）

①キャビネット本体を継ぎボルト・ナットで隣りのベースキャビネットに接続してください。



※ワゴンがエンドになる場合や、隣りが機器になる場合は、側板床固定用金具にて床に固定してください。

②タッピングねじ（SK−35）にて、カウンター補強木に固定してください。
③ワゴンをキャビネット内に納めてください。

4 シンクの取付け（仮設置）

■シンクがCE−41AH、CN−61LH、SN−61LHの場合

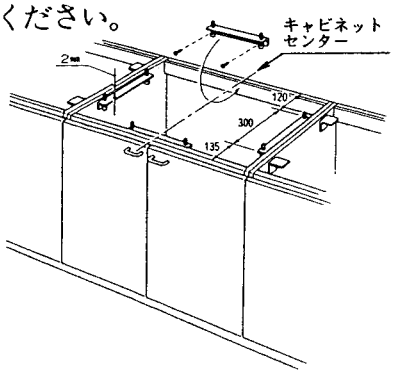
専用キャビネットに上から落とし込みます。
（支持金具はありません。）

■カウンターがタイルカウンターの場合

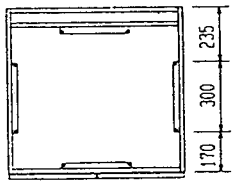
シンクは、カウンター固定後に設置します。

■上記以外の場合

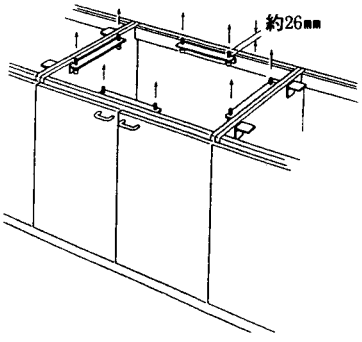
①キャビネットに付属しているシンク支持金具を、図の位置でキャビネットに取り付けてください。



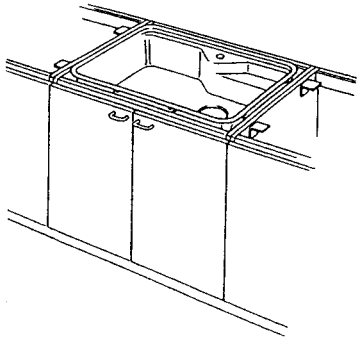
※奥行750キャビネットの場合は、右図の位置で取り付けます。



②シンク支持金具のボルトの出の高さ調節を行なってください。



③シンクを仮設し、支持金具とシンクの納まりを確認してください。

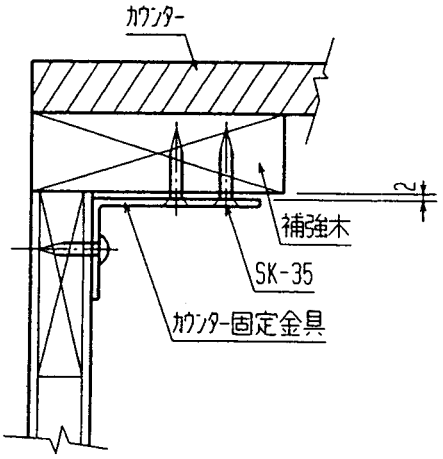


5 カウンターの取付け

①カウンターをベースキャビネット上に仮置きしてください。

②カウンターの位置を調節し、ベースキャビネットの側板に取り付けてあるカウンター固定金具を利用して、カウンター裏面の補強木にタッピンねじ（ＳＫ－35）で固定してください。

※人造大理石カウンターで、補強木とキャビネットとのすき間ができる場合は、同梱のゴムパッキンをキャビネット天面小口に貼り、すき間をふさいでください。



6 カウンターのコーナー接続方法

6-1 人造大理石カウンター

SW(ホワイト)色の場合

①カウンターをベースキャビネット上に仮置きしてください。

②〈人造大理石接着剤セット〉に同梱されている説明書に沿って接続してください。

SW(ホワイト)色以外の場合

①カウンターをベースキャビネット上に仮置きしてください。

②〈システムキッチンカウンター接合仕上げ剤〉に同梱されている説明書に沿って接続してください。

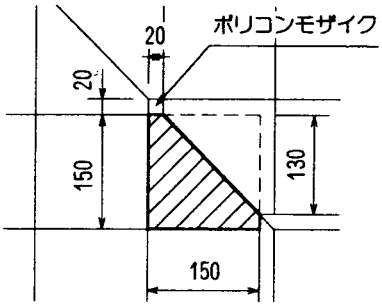
6-2 タイルカウンターの場合

①カウンターをベースキャビネット上に仮置きしてください。

②カウンター位置を調節し、コーナー部分の裏面から連結金具（ＫＰ－355）にて固定します。

③ベースキャビネットの側板に取り付けてあるカウンター固定金具を利用して、カウンター裏面の補強木をタッピンねじ（ＳＫ－35）で固定してください。

④コーナー繋ぎ部分の20㎜角スペースには、同送のポリコンモザイクを接着剤にて貼ってください。



※標準のタイルカウンターを発注いただいた場合には、タイルを貼った状態で納品いたします。その他の場合は同様に、現場でのタイル貼りをお願いします。

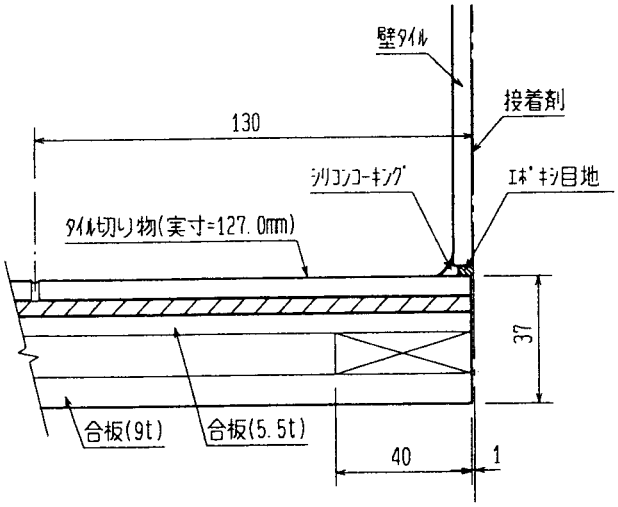
⑤別注文いただいた、エポキシ目地材の主剤（バケツ容器）に硬化剤（広口びん容器）を全て入れ、よく混合してください。
少量でご使用になる場合は、別の容器で、主剤：硬化剤＝５：４の割合で混練してください。

⑥目地用ゴムゴテを用いて、塗り目地で目地詰めを行ないます。完全に充填されるよう、充分に塗り込んでください。
タイル表面に残った目地材は、ゴムゴテでよくかき取ってください。

⑦目地詰め後、夏期30分・冬期60分以内に、水で湿らせたスポンジで、軽く円を描くように擦り、タイル表面に付着した目地材をふき取ります。よくスポンジを洗い、何度か繰り返してください。
最後は、きれいなスポンジでふき取ってください。目地表面が荒れたら、指先（手袋着用）に水をつけ、たたくように補修してください。

⑧約３～４時間後、タイル表面に目地材が残っていないか確認し、残っている部分をよく絞った布でふき取り、仕上げてください。

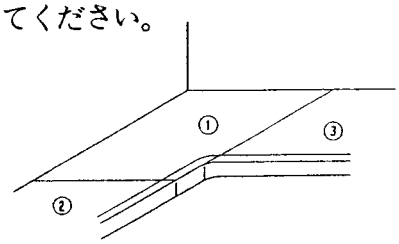
＊タイルカウンターとキッチンバックタイルとの納まりは下図のようになります。



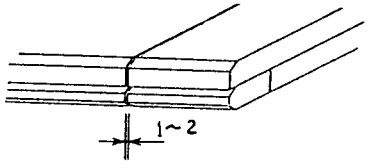
6-3 天然石カウンターの場合

①ベースキャビネットが正しく設置されているか確認してください。

②Ｌ型用のコーナー部材をキャビネットコーナー部分に仮置きします。次に、残りのカウンターを仮置きします。このとき、石の端部が壁や周囲のものに当たらないように注意してください。



③ベースキャビネットにカウンター固定金具を利用して固定します。カウンターの接合部分にはシリコンしろとして１～２㎜のすき間を残して固定してください。



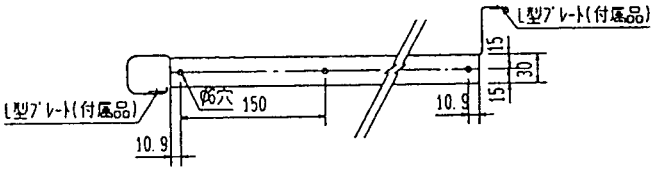
④カウンター接合部にシリコンコーキングの目地幅を残して両側にマスキングテープを貼ってください。

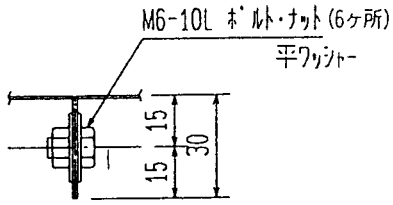
⑤接合部に変成シリコン（同梱品）を打ってください。

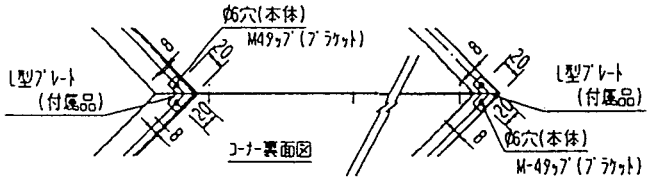
⑥マスキングテープを剥がしてください。

6-4 ステンレスカウンターの場合

①平坦な床面にカウンターを裏返して置き、コーナー部を付属のボルト・ナットで接続します。前垂れ裏面、バックガード部分も同じく付属のＬ型プレートで接続します。







②カウンターを元に戻し、ベースキャビネットの上に仮置きしてください。

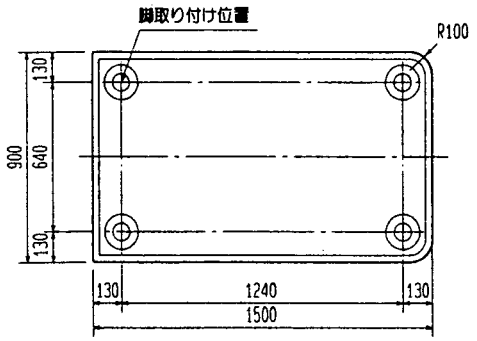
③カウンター位置を調節し、５の要領でカウンターをねじで固定します。

④接合部はカウンター設置後、同梱のシリコン（クリア）でコーキングしてください。

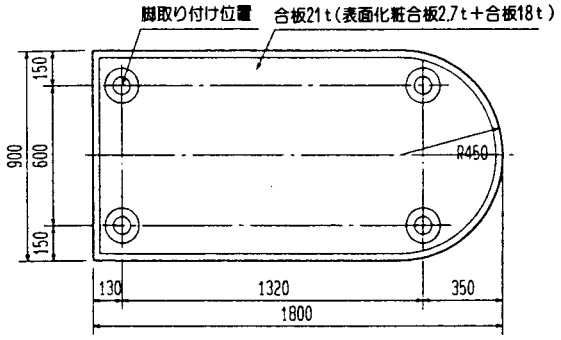
6-4 ダイニングテーブルの脚の取付け

①脚取付プレートを図の位置で、タッピングねじ(ＳＫ－35)にて固定してください。

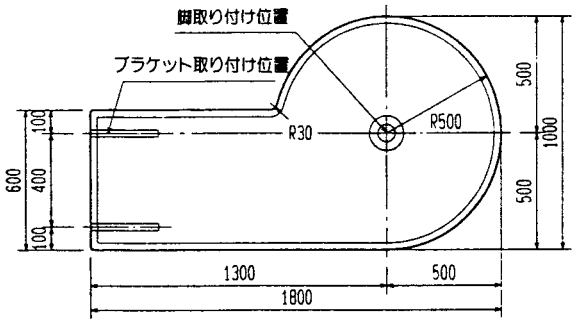
イ)ＪＭＴ150ＫＢＣの場合



ロ)ＪＭＴ180ＵＢＣの場合



ハ)ＪＭＴ180ＰＢＬ(Ｒ)の場合

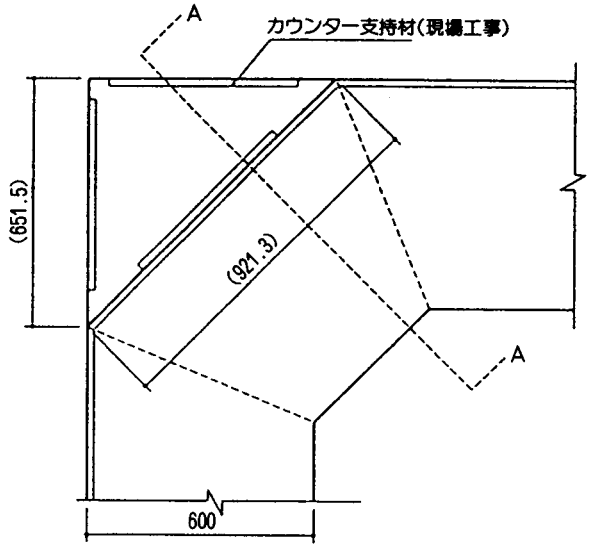


＊ＪＭＴ180ＰＢＬ(Ｒ)は、方形側は壁または腰壁ユニット等にブラケット(同梱)にて固定してください。

■コーナー用フィラーカウンターの取付方法

①コーナー部分のH:888の位置に墨出しをします。

②カウンター支持材(現場調達)を取り付けます。同様にベースキャビネットの背板部分にも支持材を固定します。

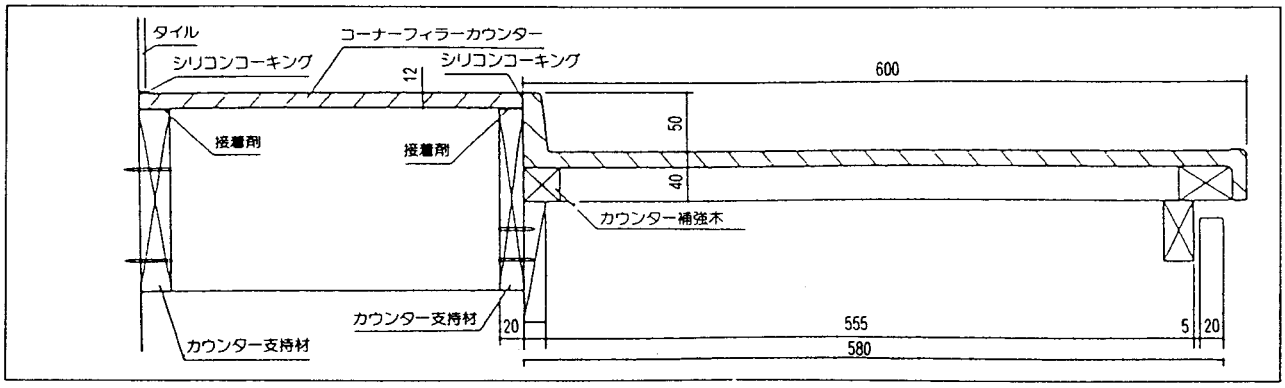


③キャビネットをセットし、水準器でレベルを確認しながら、アジャスターを調節します。

次に、隣接するキャビネットと継ぎボルト・ナットで接続します。

④コーナー用フィラーカウンターをはめ込み、接着剤(別途)にて固定します。

⑤バックガードとのすき間をシリコンでコーキングします。

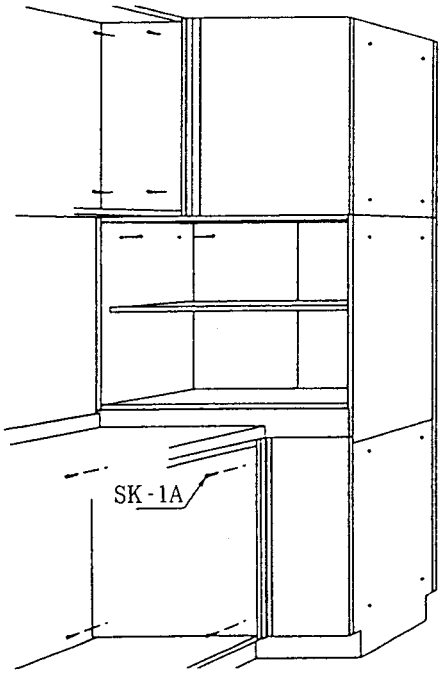


7 トールユニット、食器戸棚の取付け

①トールユニット（食器戸棚）のベースキャビネット部分と上部ボックス部分を、カウンターの固定と同じように、タッピンねじ(ＳＫ－35)で固定してください。(５参照)その際、前面、側板にズレが生じないよう注意してください。

②トールユニット（食器戸棚）を所定の位置に仮置きし、隣接キャビネットとの整合に注意して、継ボルト・ナット(ＳＫ－１Ａ)で接続してください。

③キャップ付木ねじ（ＳＫ－４Ｎ）で壁面に固定してください。



■カウンター上置き型の場合

①カウンター上置き型のキャビネットをカウンターの所定の位置に仮置きし、隣接するキャビネットとの整合に注意して、連結ボルト・ナット（ＳＫ－１Ａ）で接続してください。

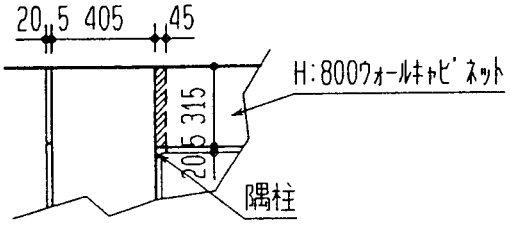
②キャップ付木ねじ（ＳＫ－４Ｎ）で壁面に固定してください。

■隅食器戸棚取付けのご注意

※隅食器戸棚用吊り戸棚の高さは、H:600です。H:800のウォールキャビネットとの接続の場合は、同梱のフィラーをご使用ください。

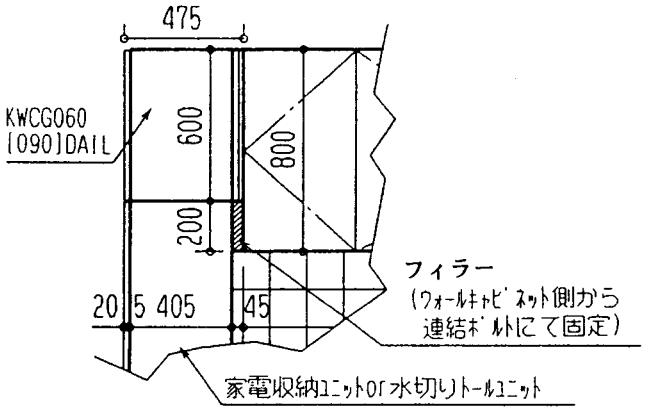
①隅食器戸棚、ウォールキャビネットをセットします。

（平面図）



②スペーサーをはめ込み、ウォールキャビネット側から、凍結ボルトにて固定します。スペーサーには、鬼目ナットが埋め込んであります。

（展開図）

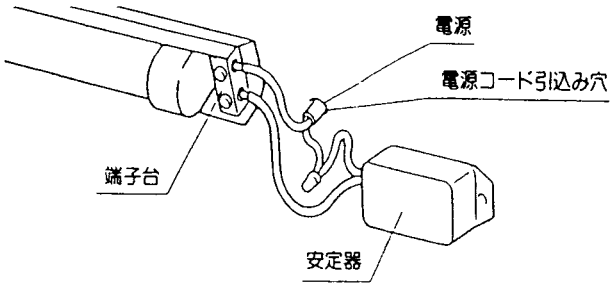


8 ミドルキャビネットの取付け

※壁面への固定方法は、P.7,8を参照ください。

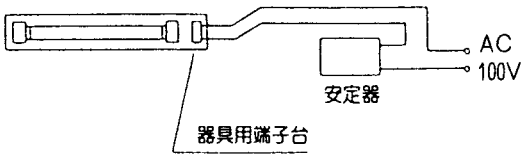
8-1 照明付オープン小物棚(KMEC＊＊＊ALAC)の取付け

①背板のコード引込穴より電源コードを通してから、キャビネットを木ねじ(SK－24)で壁に取り付けてください。



②電源コードを接続してください。接続は電気業者に依頼してください。

回路図



9 腰壁ユニットの取付け

①腰壁ユニットと接する部分のベースキャビネットの背板に、木ねじ用の下穴（φ5）をあけてください。

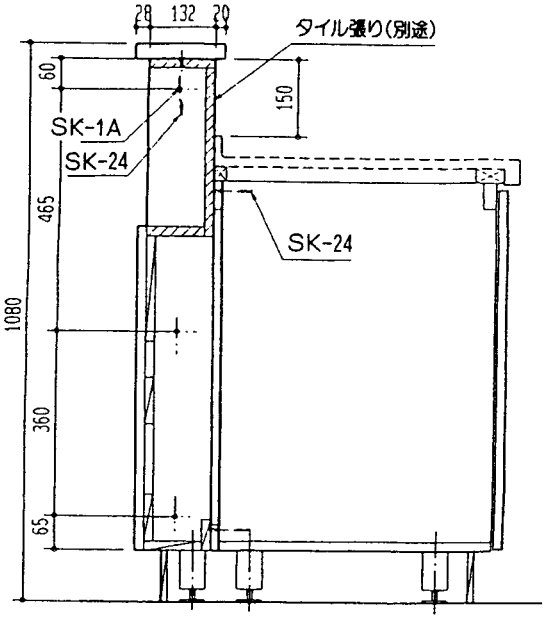
②腰壁ユニットのキャビネット部を継ぎボルト・ナット（SK－1Aのオスのみ）で固定してください。

③組み立てた腰壁ユニットを、取り付けるベースキャビネットの背面にあてがい、ベースキャビネットの背板にあけた下穴より木ねじ（SK－24）で固定してください。

④腰壁ユニットのカウンターをキャビネット部の天板の上にのせ、下図の位置にて、木ねじ（SK－24）で固定してください。

⑤同梱の巾木を取り付けます。

＊腰壁ユニットの上部下地面はタイル張りを行なってください。

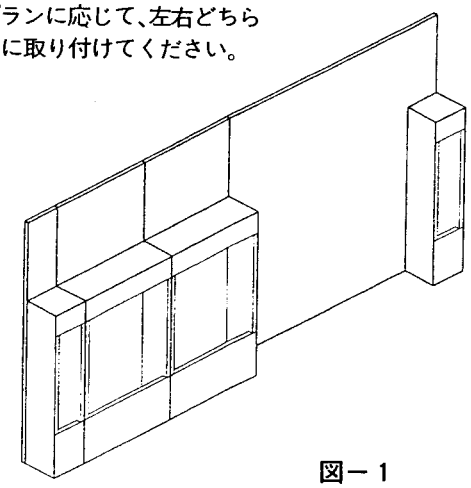


■D750用腰壁ユニットの取付け

①キャビネットパネルをプランに応じて並べます。(図－1)

巾150のキャビネット(インサートメネジタイプ)はシンクベース用パネル(W1050×H1200)に取り付けます。

※プランに応じて、左右どちらかに取り付けてください。

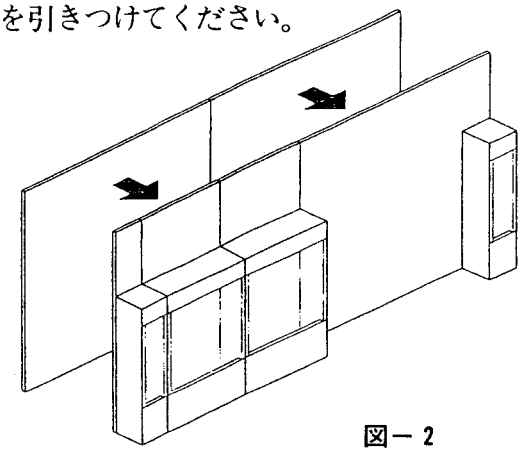


図－1

②並べたキャビネットパネルを左右連結してください。

③裏面パネルを取り付けてください。(図－2)

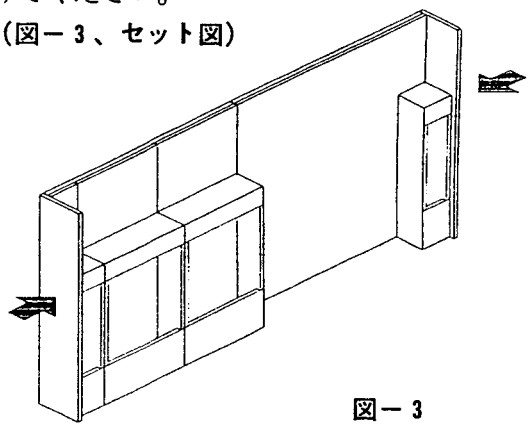
キャビネットパネル側にφ5の下穴をあけておき、木ねじ（SK－24）で裏面パネルを引きつけてください。



図－2

④サイドパネルを取り付けます。プランに応じて左右どちらか、もしくは両方に取り付けてください。

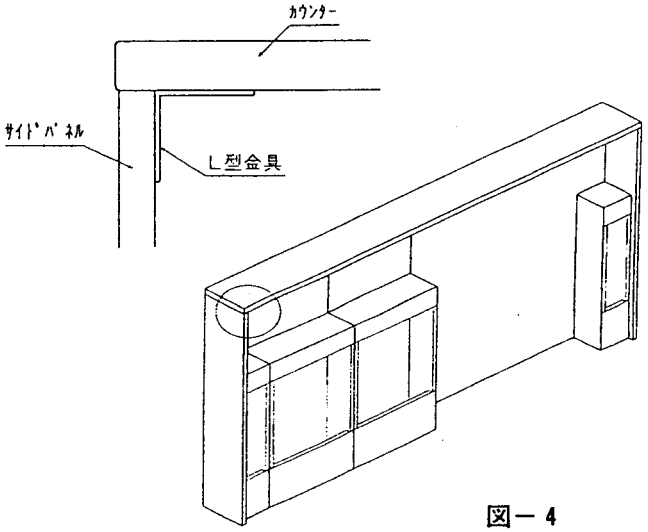
（図－3、セット図）



図－3

⑤集成材カウンターを上にのせ、サイドパネルとL型金具で連結してください。

（図－4、セット図）



図－4

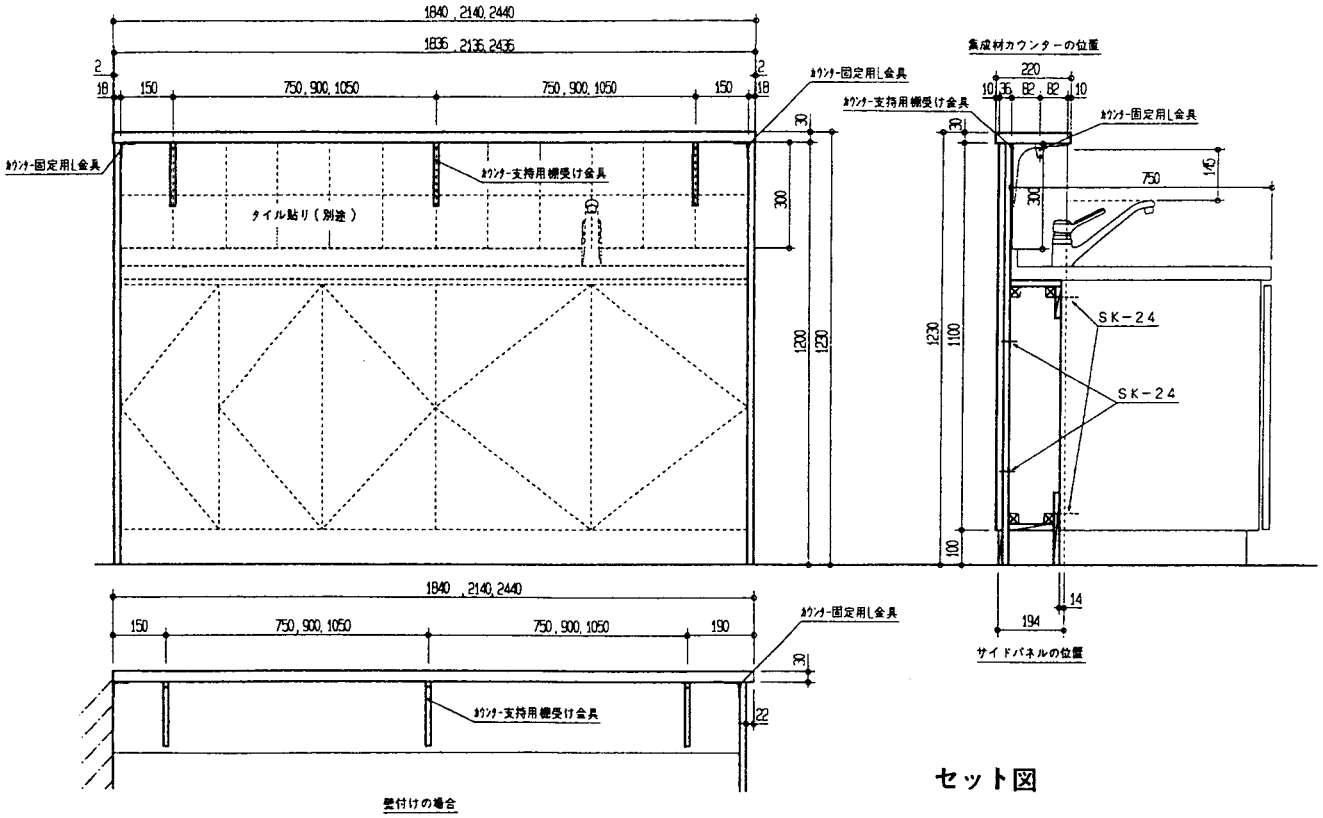
⑥組み上げた腰壁ユニットに、ベースキャビネットを取り付けてください。

（セット図）

ベースキャビネット側にφ5の下穴をあけておき、木ねじ（SK－24）で腰壁ユニットを引きつけてください。

⑦タイル貼り（別途）の後で、棚受け金具を取り付けて集成材カウンターを支えるようにしてください。

（セット図）



セット図

10 ペニンシュラーの取付け

①ペニンシュラー部分、もしくはハッチ部分のベースキャビネットの裏面全周の小口部分に、同梱の小口テープを貼りつけます。

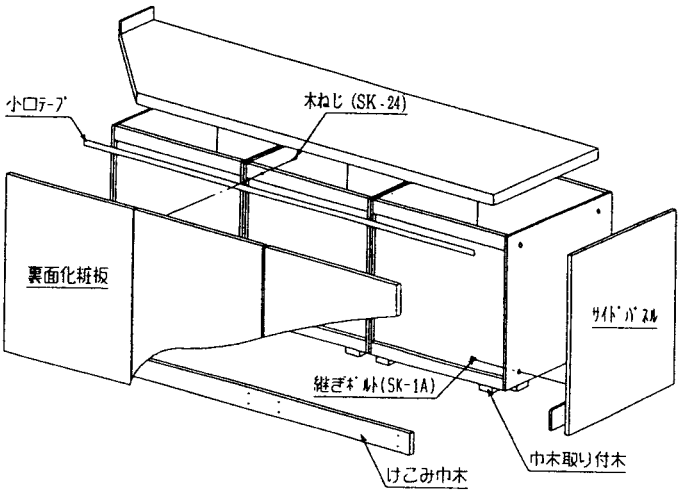
②ベースキャビネット裏面側のアジャスターに巾木取付木を付属のビスで取り付けてください。

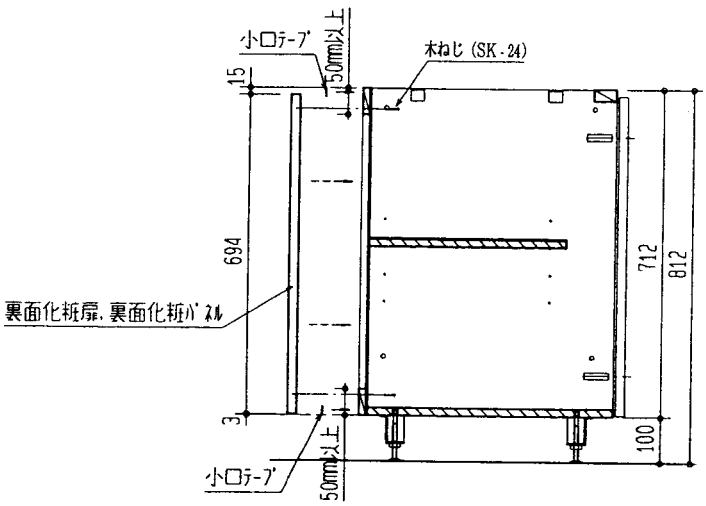
③側面化粧板を継ぎボルト（ＳＫ－１Ａ）で取り付けてください。

④裏面化粧板の位置を調節し、両面テープで仮止めします。ベースキャビネット内部より、木ねじ（ＳＫ－24）で固定してください。

⑤カウンターとベースキャビネットをタッピングねじ（ＳＫ－35）で固定してください。

⑥けこみ巾木を化粧ビス（ＳＫ－５）で取り付けてください。

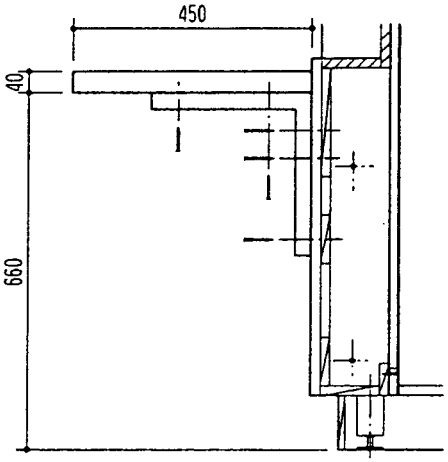




11 ダイネットカウンターの取付け

※ダイネットカウンターは腰壁ユニット、または、サービスカウンター（両面ハッチタイプ）に取り付け可能です。

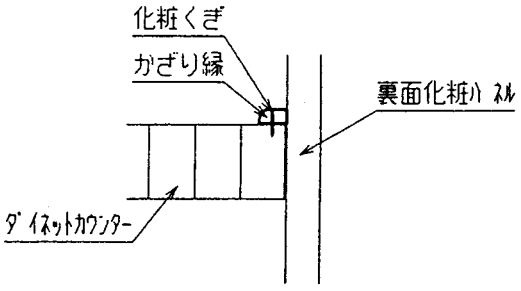
①付属のブラケットのうち２本を、カウンターの両端から右図のように控えた位置で、付属のねじ（大）で下図の高さに取り付けてください。

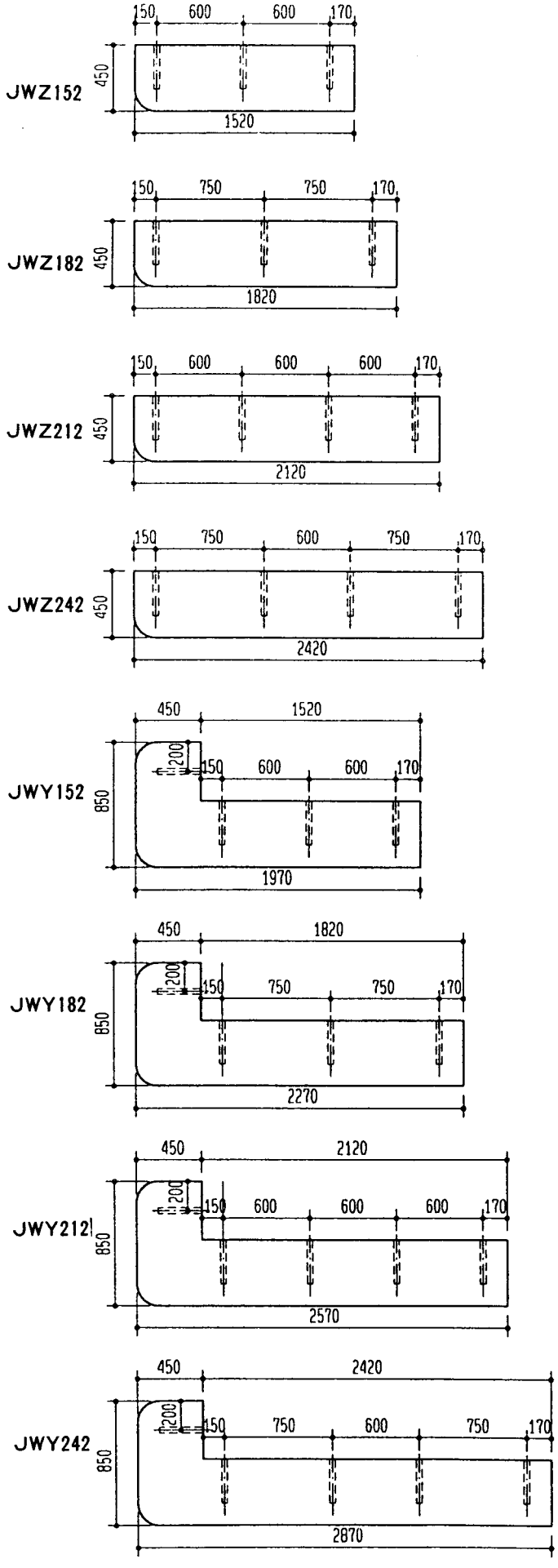


②ダイネットカウンターをブラケットの上にのせ、付属のねじ（小）で固定してください。

③残りのブラケットを右図の位置で、ダイネットカウンターおよび裏面パネルにあてがい、取り付けてください。

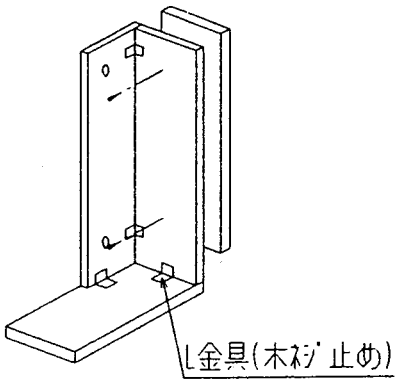
④裏面、側面化粧板とダイネットカウンターの接合部に飾り縁を化粧くぎ（ＳＫ－６）で取り付けてください。



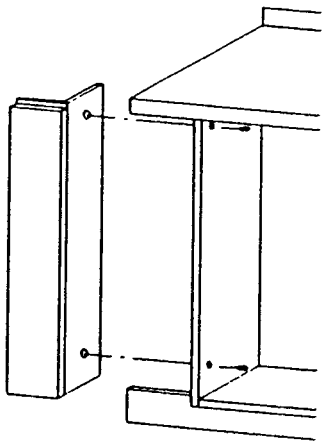


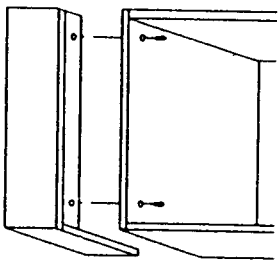
12 フィラーの取付け

①間口50mm以上のフィラーは、ベース用、吊り戸棚用ともパネルの状態で現場納入しますので、取付現場にてL/Rを考慮して組み立ててください。



②隣接するキャビネットに継ぎボルト（SK－1A）で固定してください。
フィラーの側板には、鬼目ナットが埋め込んでありますのでナットは不要です。





13 冷蔵庫用サイドパネルおよび上部用ウォールキャビネットの取付け

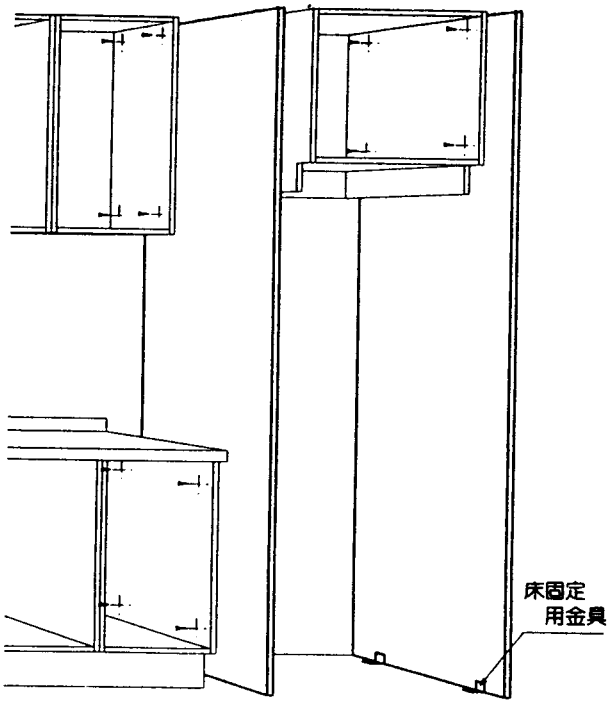
※L/Rは共通です。

①隣接するベースキャビネット・ウォールキャビネット内部よりサイドパネル(KPNZ002) を木ねじで固定してください。

②冷蔵庫上部用ウォールキャビネットの側面をサイドパネルに合わせ、木ねじで固定してください。
連結穴は使用しませんので、穴埋めキャップで塞いでください。

③レベル調節しながら、ウォールキャビネットをキャップ付木ねじ（SK－4N）で壁面に固定してください。

④もう一方のサイドパネルを、冷蔵庫上部用キャビネットに木ねじで固定してください。
下部は、付属の固定金具にて床に固定してください。

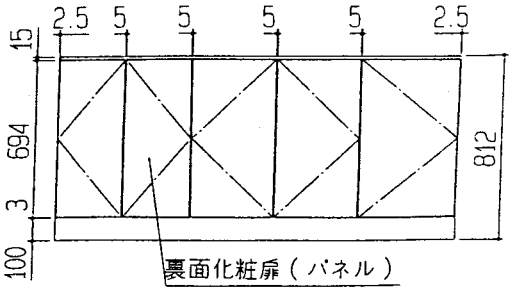


14 エンドパネルの取付け

①キャビネットの内部から連結ボルト（SK－1A）で固定してください。エンドパネルには、鬼目ナットが埋め込んであります。
全てキャビネット本体合わせのサイズです。
左右対称であるため、L/Rはありません。

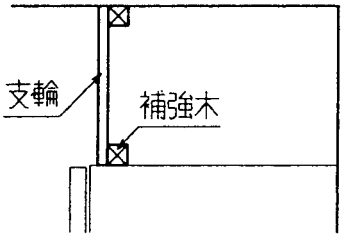
15 裏面化粧扉、化粧パネルの取付け

①キャビネットの内部から連結ボルト（SK－1A）で固定してください。裏面化粧扉・化粧パネルには鬼目ナットが埋め込んであります。
取付位置は通常の扉と同様で、複数枚の扉やパネルが並らぶ場合は左右の間隔や上下の位置を合わせてください。



16 支輪の取付け

①支輪を必要な幅・長さに切断してください。
②キャビネット上部および天井部に木桟を取り付け、支輪を前面よりねじ止めします。

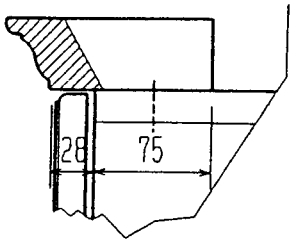


③エンドシェルフ用には、専用のものを各種用意しております。形状に合わせてお選びください。

※シンプル・ミルディナのエンドシェルフ用はありません。

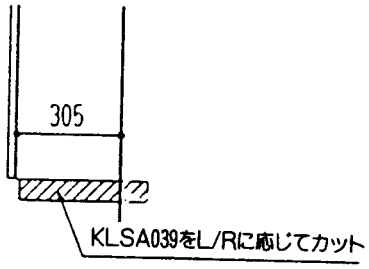
17 オーナメントの取付け

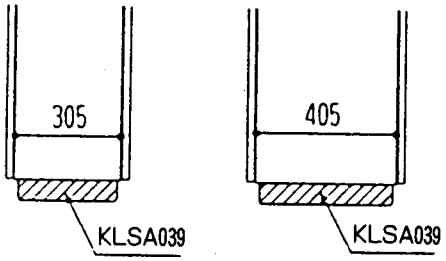
①オーナメントを必要な長さに切断します。
②下図のような位置に取り付けてください。



18 照明幕板の取付け

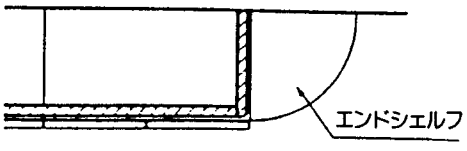
①照明幕板を、必要な長さに切断してください。





②キャビネット本体より10㎜控えた位置に、木ねじ（ＳＫ－24）で固定します。

＊シンプル・ミルディナ用の照明幕板（エンドシェルフ下部用）はありません。エンドシェルフの手前で直角に回してください。（エンドシェルフのシンプル・ミルディナ色がないためです。）

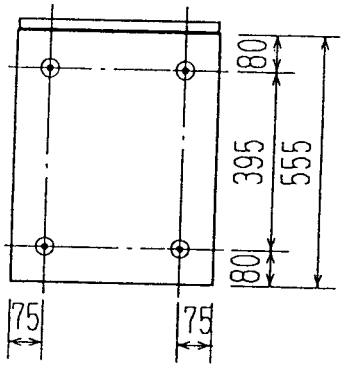


19 けこみ巾木の取付け

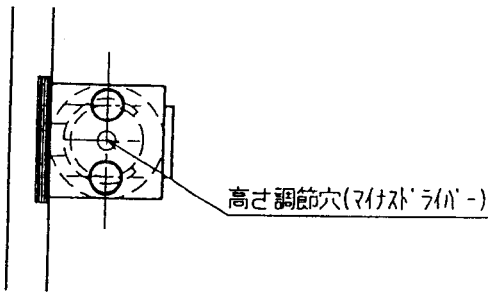
①けこみ巾木を必要寸法に切断してください。コーナー部分の出隅は切断面に同梱の小口テープを貼って処理してください。

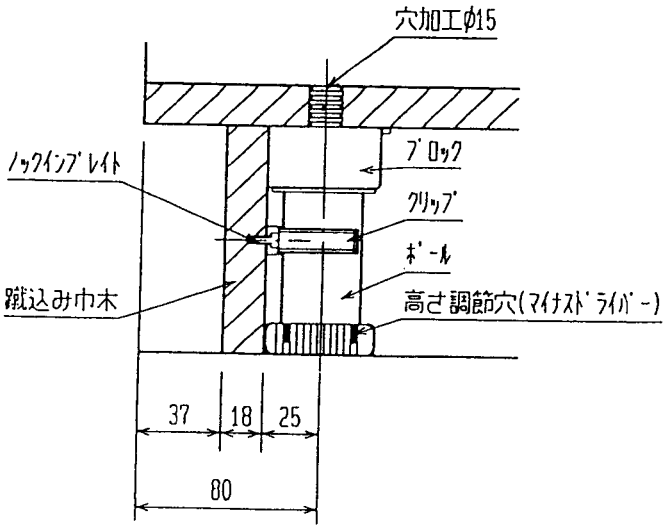
②けこみ巾木にはノックインプレートが４本備え付けてあります。アジャスターの位置にノックインプレートをハンマー等で移動させてください。

③クリップをノックインプレートに取り付け、ポールに挿入します。



アジャスター取付位置(ﾍﾞｰｽｷｬﾋﾞﾈｯﾄ)





■コーナー部のけこみ巾木の納め方

①図1のように、けこみ巾木A、Bへノックインプレート A、Bを指定寸法位置へ固定してください。

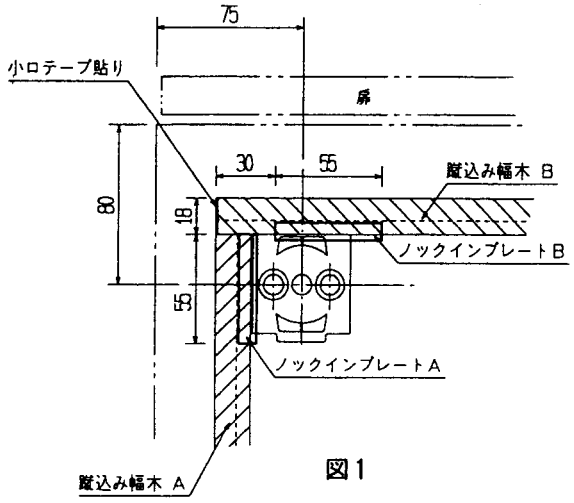
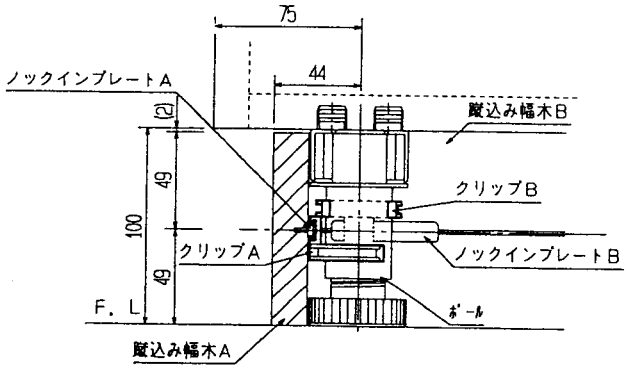


図1

②コーナー部の出隅であるけこみ巾木Bの木口断面には、同梱されている木口テープ(けこみ巾木同色) を貼って処理してください。

③けこみ巾木A、Bへ取り付けたノックインプレートに、図2のようにクリップA、Bを取り付け、ポールへはめ込んでください。

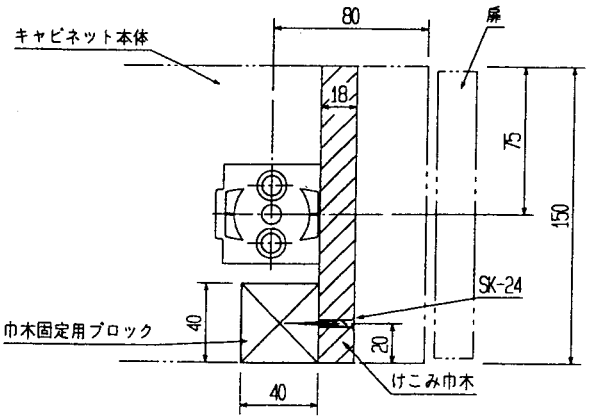


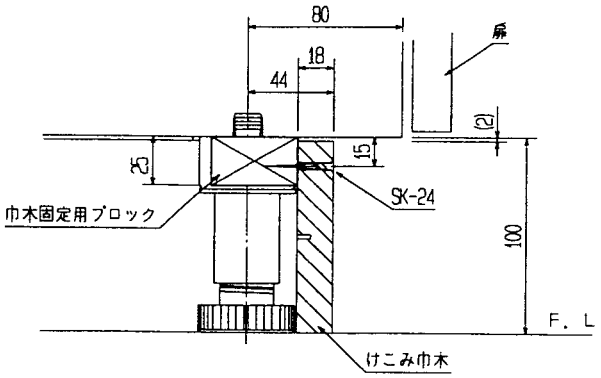
展開方向2

図2

■けこみ巾木を巾150の部分にだけ付ける場合

①巾150のキャビネット底面には、巾木固定用ブロックが付いています。図のように木ねじ (SK－24) で巾木を固定してください。

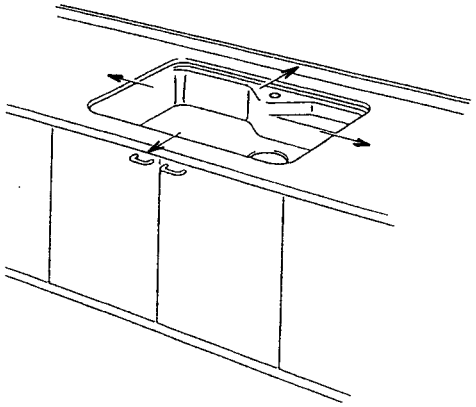




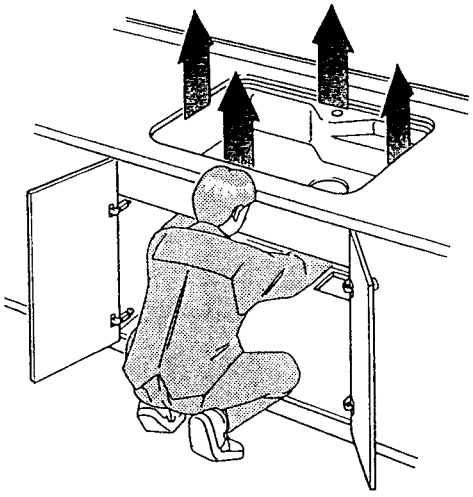
20 シンクの取付け(固定)

■人造大理石カウンター・天然石カウンターの場合

①カウンターの開口部の中央にシンクが位置するよう、前後、左右に調節してください。

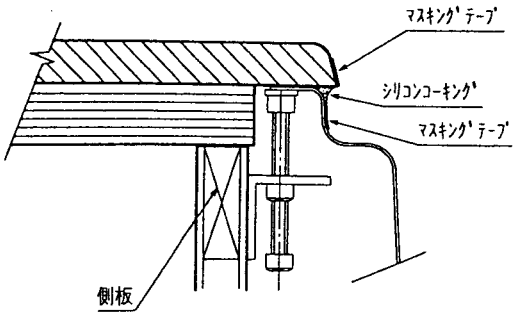


②シンクがカウンター裏面に接するまで、支持金具のボルトを＋ドライバーで締め付けてください。

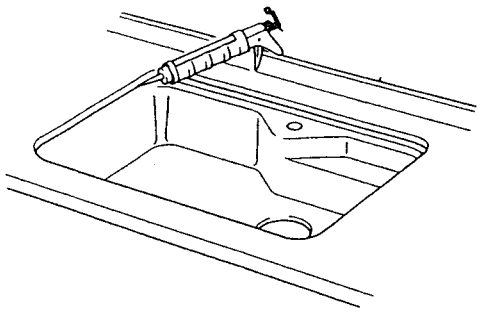


※シンクが、CE－41AH、CN－61LH、SN－61LHの場合は、支持金具はありません。

③コーキングの目地幅を残し、カウンター小口およびシンクフランジ部にマスキングテープ（別途）を貼ってください。



シリコン（クリア）を奥まで詰めるように打ち、指で仕上げてください。



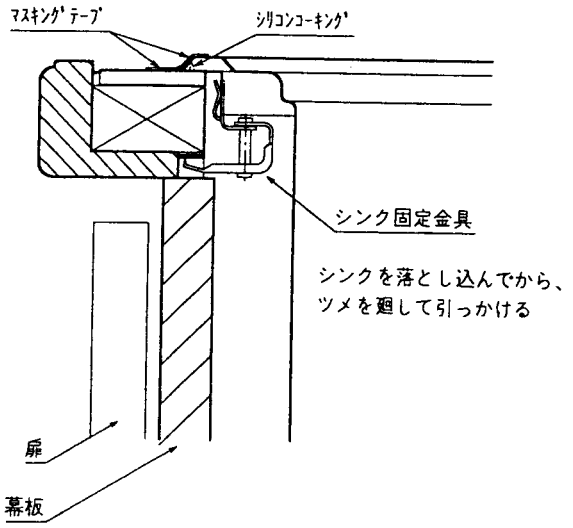
④マスキングテープをはがしてください。

■タイルカウンターの場合

①シンクをカウンターの開口穴に落とし込み、中央に位置するように調節し、カウンター及び、シンクフランジ部に、マスキングテープ（別途）を貼ってください。

②いったん、シンクを外します。付属のシンク固定金具をシンクの折曲げリブの開口部に取り付けてください。

③カウンターの開口部全周にシリコン（クリア）を打ち、シンクを落とし込みます。シンク固定金具のツメをカウンター裏面に引っかけ、締め付けてください。

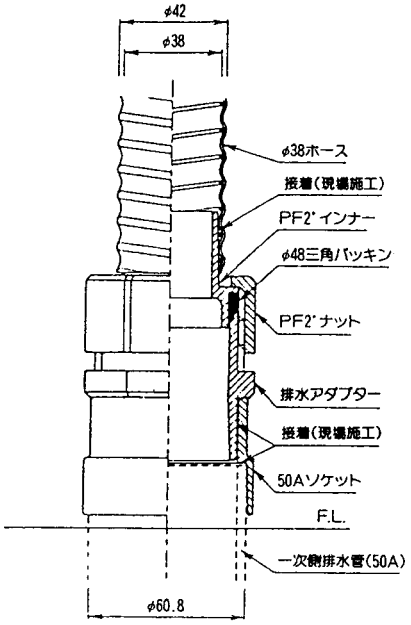


④コーキング目地を仕上げ、マスキングテープをはがしてください。

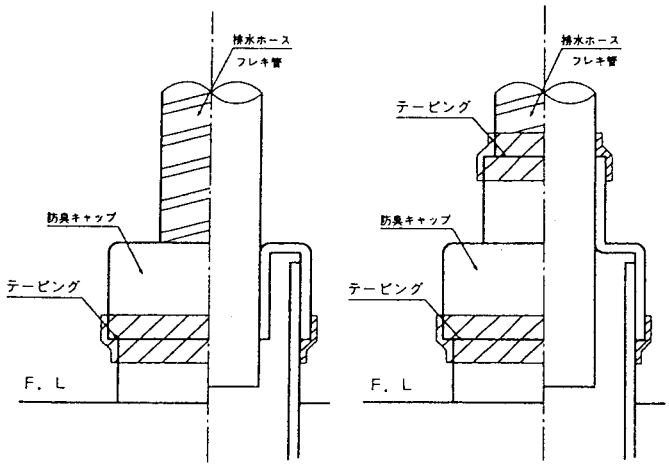
21 水栓等の取付け

①水栓金具を専用工具（HG－18）を用いて取り付けてください。
②大型ゴミ収納器を専用工具（HG－1）を用いて取り付けてください。
③排水ホースを取り付けてください。
④一次側排水管との接続は、下記のいずれかとなります。
(部品はどちらか一方が同梱となります)

● 品番 HM-25T



● 品番 HM-37T



22 ビルトイン機器の取付け

※ビルトイン機器を機器と同梱の工事説明書に従い取り付けてください。

23 配管、配線の接続

※専門の工事業者に依頼し、ガス管、給水管、電気配線の接続を行なってください。

24 レンジバックタイルの施工

■下地の確認

はじめに下地材を確認してください。

下　地	適性	留　意　点
珪酸カルシウム板（ケイカル板）	○	●比重1.0のものとし、厚さは12㎜以上のものを使用してください。 ●胴ぶちは300㎜ピッチ程度としてください。
モ ル タ ル	○	●金ゴテ押え下地を標準とし下地精度は±2㎜/2m以内としてください。

上記または珪酸カルシウム板（12㎜厚）相当の不燃板下地が必要です。

■施工材料の確認

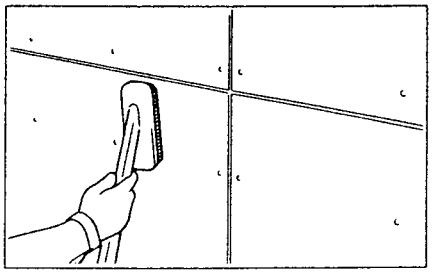
施工材料については以下のものをお薦めします。

下　地	レンジバックタイル	接　着　剤
ケイカル板	#150K(ホワイト)	イナメント(E73)(エポキシ系)
	#171K(ウォームグレー)	
	#181K(ベージュ)	

■施工方法

①下地処理（別途工事）

●表面に付着したごみ・ほこり等を除去した後に、必要に応じて防水処理やプライマー処理を施こします。

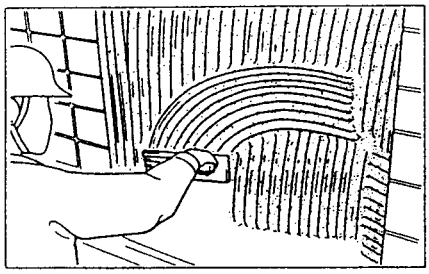


②墨出し

●割付け図面に基づき、下地面に直接墨を打ちます。

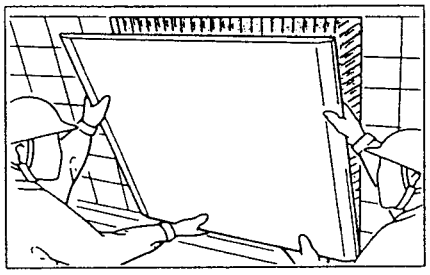
③接着剤の塗付け

●くし目ごてを用いて接着剤を塗付けます。接着剤の塗付け高さが3㎜以上となるようにします。



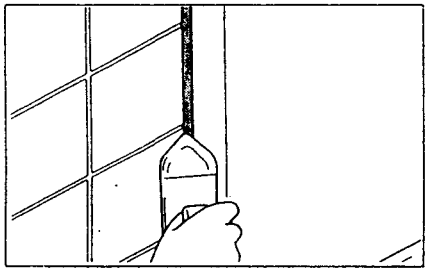
④レンジバックタイルの貼付け

●手で十分もみ込んで貼付けます。レンジバックタイル周囲を見て、くし目の山がつぶれていることを確認してください。



⑤目地詰め

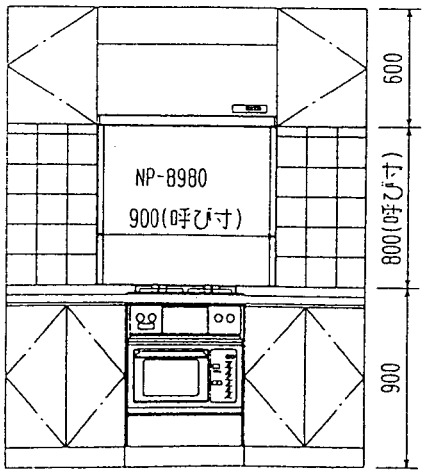
●接着剤が十分硬化した後、目地詰めをします。



⑥清掃・養生

●清掃後、養生を行なってください。

■施工例



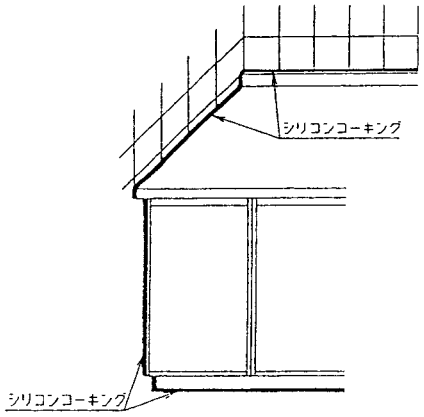
25コーキング

■カウンターまわりのコーキング

①カウンターと壁との合わせ部分にシリコンコーキングの目地幅だけ残し、両側にマスキングテープを貼ってください。

②タイル用目地の上に重ねて、シリコン(白)(別途)を打ってください。

③マスキングテープをはがしてください。



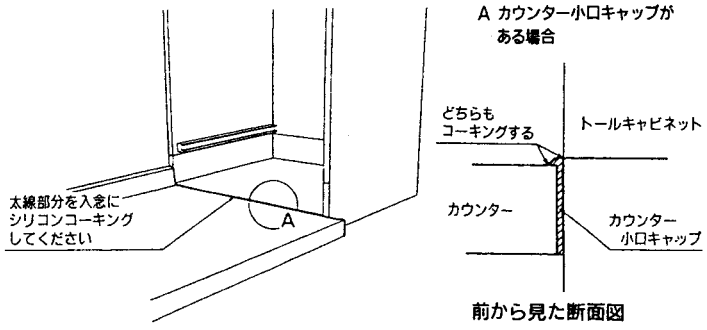
■キャビネットまわりのコーキング

①カウンターまわりと同様に、キャビネットと壁の間、けこみ巾木と床の合せ部分にシリコンコーキング(クリアー)を行なってください。

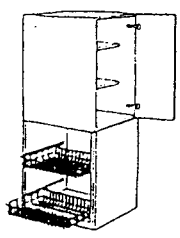
②下記キャビネットに関しては、カウンターとの突合せ部分にも入念なシリコンコーキングを施してください。

●水切りトールボーイ

※ベースキャビネット側へ水分が侵入し、側板が膨張する恐れがあります。



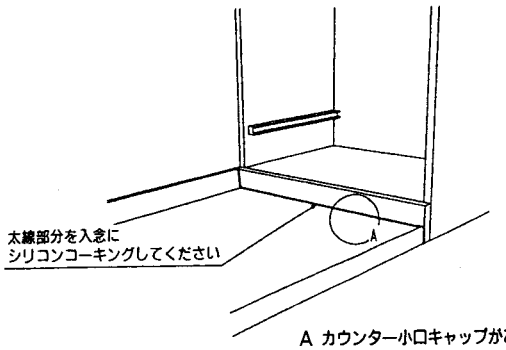
●水切りトールボーイ
水切り棚2枚付



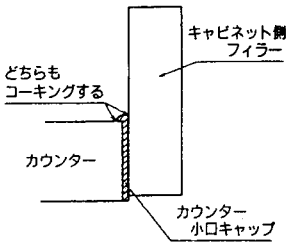
KTTQ045MADR(L)

●隅食器戸棚

※小口面の角から水分が侵入し、芯材が膨張する恐れがあります。

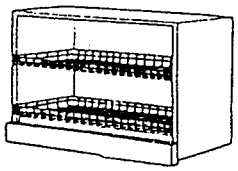


A カウンター小口キャップがある場合



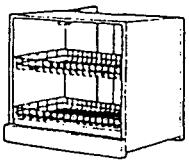
前から見た断面図

●隅食器戸棚
水切り棚2段付



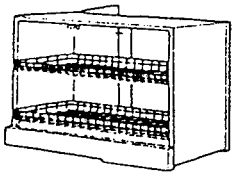
KTCK090MAAR(L)

●隅食器戸棚
ハッチ用、水切り棚2段付



KTCK060MAHR(L)

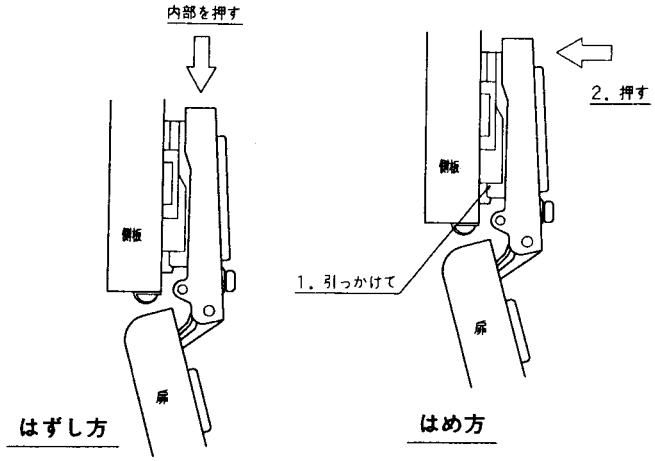
●隅食器戸棚
ハッチ用、水切り棚2段付



KTCK090MAHR(L)

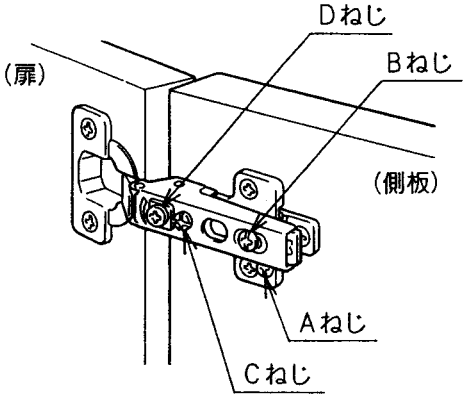
1 扉の調節

●扉のはずし方、はめ方

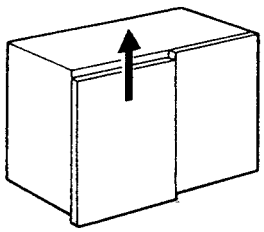


●扉の調節方法

※下図の要領で扉の調節を行なってください。

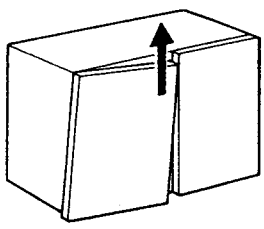


(1)扉の吊り元を変える場合



①垂直方向調節ねじ（Aねじ）をゆるめる。
②扉を上方へ動かし、Aねじを締める。
※調節範囲　上方向2.0mm 下方向2.0mm

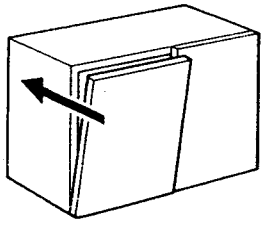
(2)扉の先端を上に上げる場合



①扉の下の蝶番の左右方向調節ねじ(Cねじ)を約1回転ほど締める。(右に回す)

②扉を閉めて確認する。
③正しい位置になるまで①~②をくり返す。
※扉の先端を下げる場合は、(2)の逆に、上の蝶番で調節してください。
④上記①~③の調節で扉と扉のすき間が他のすき間と違ってきた場合は、上下の蝶番のCねじを同じ割合で回して調節してください。
・右へ平行移動する場合…Cねじを右へ回す
・左へ平行移動する場合…Cねじを左へ回す
※扉と扉のすき間は設計上5mmですので、それを目安としてください。

(3)扉と側板のすき間が上下で違う場合



①扉の上の蝶番の固定および前後方向調節ねじ(Bねじ)をゆるめ、扉を動かして正しい位置にする。
②正しい位置でBねじを締め付ける。
※調節範囲　前方向3.0mm 後方向1.0mm
※1枚の扉だけで調節できない場合は、両隣りの扉も含めて調節してください。

(4)扉のキャッチ力調節を行なう場合

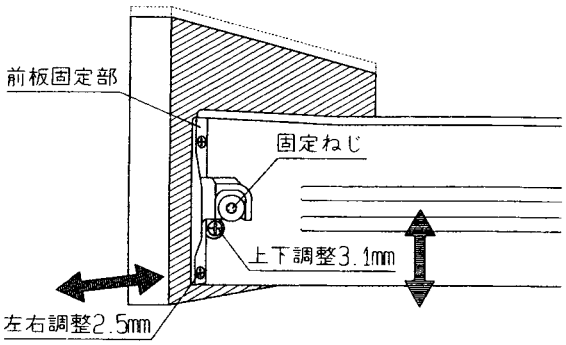
※キャッチ力調節機能は、コーナーキャビネット(観音扉タイプ)及び間口150mmキャビネットには付いておりません。
キャッチ力調節ねじ(Dねじ)により扉の大きさ、重さに応じた閉まり具合に調節することができます。
・キャッチ力最大(強)にする場合……Dねじを右に回す
・キャッチ力最小(弱)にする場合……Dねじを左に回す
※調節前のキャッチ力は強弱中間のところに調節してあります。

ご注意
●調節後は、全ての扉のAねじ及びBねじを固く締め付けてください。締め付けがあまいと、使用後間もなく扉がズレたりする場合があります。
●ねじをゆるめたり締めたりする場合は、必ずドライバーで行ってください。電動ドライバーは使用しないでください。

2 引き出し前板の調節

①引き出しのスライドレール側面のキャップを外します。

②下図の要領で、引き出し前板の調節を行なってください。



※前板固定ねじと兼用のため、
調整後はしっかりと固定して下さい。

3 養生

通水、通電、燃焼、換気状態等異常のないことを確認した後、汚れ、キズの付かないように養生してください。

株式会社INAX

本　社	☎0569-35-2700	札幌支社	☎011-271-1701	東北支社	☎022-263-1710
東京支社	☎03-5541-7111	西東京支社	☎0425-27-3341	横浜支社	☎045-242-1710
千葉支社	☎043-227-8171	埼玉支社	☎048-668-1177	東関東支社	☎0286-37-3378
関越支社	☎0273-27-1793	甲信支社	☎0263-36-2166	名古屋支社	☎052-201-1717
静岡支社	☎054-251-1710	北陸支社	☎0762-64-1710	大阪支社	☎ 06-539-3500
京滋支社	☎075-222-1794	広島支社	☎082-223-1710	四国支社	☎0878-21-1701
福岡支社	☎092-471-1710	南九州支社	☎096-322-1794		

PKU-0004(95060)